



県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

令和7年
2025
秋季号

Vol.57

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈防犯のまちづくりを〉

今年も10月から11月にかけて、防犯のまちづくり推進街頭キャンペーンが県内各地で行われています。県内の刑法犯認知件数は、ピーク時から減少を続けていましたが、コロナ禍以後、増加に転じています。特に昨年、侵入窃盗が大幅に増え、またオートバイ盗や車上ねらいが目立って増えています。また、特殊詐欺も相変わらず減少していません。私たちも、防犯に対する日頃の意識啓発と防犯対策に取り組みましょう。

「県産木材利用促進条例」策定へ

今年5月に本県で第75回植樹祭が開催され、森林資源の活用や木材の利用拡大を図る「活樹」の重要性を全国に発信しました。これを契機に、県は、県産木材の利用を一層拡大するため、条例を制定することを委員会で明らかにしました。県産木材の利用促進については、武内県議をはじめ山林を有する地域の県議が取り組んできましたが、ようやく条例化が実現します。10月15日から県民コメントを募り、条例案を令和8年2月定例会に諮る予定です。

令和7年9月定例県議会(令和7年9月24日～10月15日)

八潮市内で発生した下水管の破損及び道路陥没への対応や下水道管路の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策等に係る予算を措置するとともに、公共事業の追加など当面対応すべき事業について補正予算を編成しました。

一般会計 88億4,620万5千円 流域下水道事業会計 62億8千万円

主な内容

下水道管の破損及び道路陥没への対応 【流域下水道事業会計：7億8千万円】

下水道管の破損及び陥没した道路の復旧工事の影響を受ける住民及び事業者への補償等を行います。

下水道管路の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策等 【流域下水道事業会計：55億円】

速やかな対策が必要と県が認めた個所について、改築工事等を実施します。

公共事業の追加、適正工期の確保 【84億4,197万7千円】

- 道路・街路事業(50箇所) ……74億9,897万7千円
- 河川事業(8箇所) ……9億4,300万円

繰越明許費の設定(適正工期の確保) 【140億2,290万4千円】

中央児童相談所一時保護所整備費の継続費の変更 【6,359万6千円】

解体工事におけるアスベストの除去等を行うため3億6,343万5千円増額。うち、令和7年度分が6,359万6千円、令和8年度分が2億9,983万9千円となります。

医療需要の変化に直面する医療機関に対する支援 【3億4,063万2千円】

効率的な医療供給体制の確保を図るため、医療需要の急激な変化を受けて病床数の適正化を進める医療機関に対して、給付金を支給します。

県会議員と大学生との意見交換会

県議会では、県民に開かれた県議会をめざす取組として、大学生との意見交換会を実施しました。今回は、県内にある5大学の32学生が参加しました。「埼玉県の魅力をUPさせるために！～若者たちにできること～」というテーマの下で議員との意見交換を行いました。(10月10日)

なお、今年度は初めて、高校生との意見交換会を令和8年1月に実施する予定です。



▲意見交換会の様子(県議会議事室内)

シェイクアウト訓練

関東大震災から100年目にあたる9月1日を中心に、8月30日から9月5日の防災週間に、県議会が主催して、県内一斉シェイクアウト訓練が実施されました。この訓練は令和5年度から始められたもので、今年度は個人、家庭、小中学校をはじめ、企業、団体、市町村役場など、約39万9,425人の方が登録し参加しました。

この訓練を通じて、災害伝言ダイヤルの体験利用や避難経路・場所の確認なども実施し、広く防災意識の向上が図られました。



鳩山幼稚園でのシェイクアウト訓練の様子(9月5日)



▲若者らしい意見が続出

自民党県議団が政策要望および来年度予算要望を知事に提出

自民党議員団は、県の来年度予算編成に向けた政策大綱、および市町村に係る市町村長・県議からの予算要望を知事に提出しました。

(10月15日)



埼玉県とドイツ・ブランデンブルグ州は、昨年姉妹提携25周年を迎え、このほど県議会友好親善訪問団（武内議員を含む7名）が同州及びベルリン州を訪問しました。訪問団は州首相府を訪問し、知事とディートマ・ヴォイトケ州首相の共同声明署名に立ち会いました。その後、州議会を訪問し、開かれた議会活動の展開や再生可能エネルギーの活用など、幅広い分野の課題について意見交換を行いました。

また、ポツダム大学を訪問し、同大学と埼玉大学・獨協大学との間で結ばれる、職員交流・学術協力に関する協定書締結式に立ち会



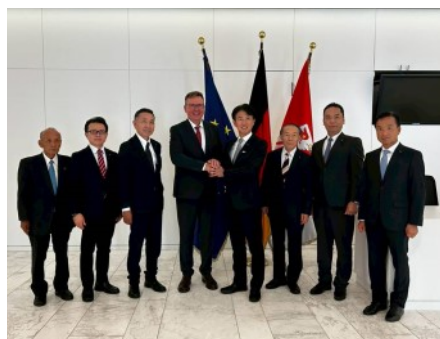
▲ポツダム大学での協定書締結式

いました。

ベルリン市内では、野菜やハーブなどをタワー型の装置を使って栽培する都市型農場「ポタジュファーム」を視察し、今後の都市型農業の在り方について参考としました。



▲共同声明の更新(首相、知事、議長)



▲州議会ホールにて



▲州政府にて



▲ポタジュファーム

〈越生町〉おとし住宅整備事業

越生町では、移住や定住の増加につなげることを目指して、越生の自然や暮らしを体験できる「おとし住宅」を今年度から来年度にかけて整備します。この「おとし住宅整備事業」は、令和7年度の事業費が1,148万円、うち県の「ふるさと創造資金」からの補助が410万円となります。

今年度は、町が梅園地域の空き家を取得し、建物のリフォーム設計を行います。来年度は、建物のリフォーム工事を行い、事業を開始する予定です。



▲リフォーム予定のおとし住宅(越生町小杉地内)
※2か年事業として、来年度も県補助を要望する予定です。

武内まさふみの活動日誌

《委員会視察》

〈自然再生・循環社会対策特別委員会〉

◆積水メディカル(株)岩手工場 (岩手県八幡平市)
十和田八幡平国立公園に隣接する同社では、医薬品の製造を行っています。環境配慮型の技術を活用し、自然環境との調和を図りながら持続可能な生産活動を行っています。(7月28日)



▲ピオトープを整備した工場内

◆(株)花巻バイオエナジー (岩手県花巻市)

同社は、保有する森林の植林、間伐、未利用材の調達から木質バイオマス発電用木材チップの製造・供給、発電まで一貫体制で取り組んでいます。(7月29日)



▲場内に積まれた原料の木材

〈総務県民生活委員会〉

◆ソフトバンク(株)竹芝本社 (東京都港区)
同社では、ITを駆使して働く時間や場所に縛られない働き方を実践しています。県職員の働き方や執務環境の在り方の参考とするため、訪問しました。(9月2日)



▲共有スペースにて

◆彩の国さいたま芸術劇場 (さいたま市中央区)

令和6年3月にリニューアルオープンした芸術劇場では、近藤良平新監督の下、多様性を重視したシアターグループを発足させるなど、鑑賞層の裾野拡大に取り組んでいます。(9月2日)



▲観客席などが新調されたホール内

知事のふれあい訪問

JAXA地球観測センター

知事が、鳩山町にある宇宙航空研究開発機構(JAXA)の地球観測センターを訪問し、宇宙開発・利用や人工衛星データ活用の現状と行政における活用促進などについて、役員の皆さんと意見交換を行いました。(7月30日)



▲活発な意見交換

地元の要望・近況など

●毛呂川の現地調査

毛呂川(毛呂山町平山地区)の浚渫について区民の方から要望があり、飯能県土整備事務所に状況確認を依頼しました。(9月3日)



▲現場の状況を聞く職員

●防犯のまちづくり街頭キャンペーン 毛呂山会場

刑法犯認知件数が増加傾向にあることを背景に、防犯のまちづくり関係団体の皆さんを中心に、武州長瀬駅前街頭キャンペーンを行いました。(10月17日)



▲参加者の皆さん

●旧毛呂山高等学校跡地の調査

跡地の取得に関心のある事業者、県教育局、毛呂山町の職員、県議が校内の状況を視察しました。(9月3日)



▲老朽化した校舎内部の様子

埼玉県議会12月定例会の予定

令和7年12月1日(月)から12月19日(金)まで。会期日程等は県議会HPでご確認ください。